



## 平成29年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月15日

上場会社名 株式会社鈴木 上場取引所 東  
 コード番号 6785 URL <http://www.suzukinet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 教義  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 横山 勝登 TEL 026-251-2600  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績（平成28年7月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	17,322	△1.1	1,217	12.5	1,224	25.0	664	124.6
28年6月期第3四半期	17,516	4.2	1,081	11.6	979	△19.8	295	△45.4

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 1,095百万円 (662.6%) 28年6月期第3四半期 143百万円 (△84.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	53.62	—
28年6月期第3四半期	23.88	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	19,779	12,895	64.0
28年6月期	18,250	12,285	65.0

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 12,657百万円 28年6月期 11,861百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	11.00	11.00
29年6月期	—	0.00	—		
29年6月期(予想)				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年6月期の連結業績予想（平成28年7月1日～平成29年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,375	1.2	1,274	△11.3	1,200	△5.0	577	249.1	46.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年6月期3Q	12,390,000株	28年6月期	12,390,000株
29年6月期3Q	4,368株	28年6月期	4,368株
29年6月期3Q	12,385,632株	28年6月期3Q	12,385,632株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方、急速な円安の進行や海外経済の減速懸念が強まっており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおいては主力の部品セグメントで自動車電装向け部品が引き続き堅調に推移しました。また、民生向けのコネクタ用部品はスマートフォン向けの需要が前年同期との比較では強めの基調での推移となりました。

このような環境のなか、当社グループは現時点をモノづくりの変革期にあると捉え、金型づくりから始まる各事業が連携し、高品質、高付加価値製品の供給を通じて顧客満足度の向上を図るとともに、利益の向上、技術の向上を確実に達成できる企業を目指し、従来より取り組んできた各施策を推進してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は173億2千2百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は12億1千7百万円（前年同期比12.5%増）、経常利益は12億2千4百万円（前年同期比25.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億6千4百万円（前年同期比124.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①金型

電子機器向け金型、自動車向け金型を主軸として販売してまいりました。電子機器向け金型は新製品向けコネクタ用金型の需要が高まり受注を伸ばしました。自動車向け金型は量産用や開発用金型が中心の受注内容となりました。

その結果、売上高は12億1百万円（前年同期比9.3%増）、セグメント利益は2億8千1百万円（前年同期比17.1%減）となりました。

## ②部品

電子機器向け部品、自動車電装向け部品を主軸として販売してまいりました。電子機器関連は季節要因等による減少が例年の動きですが、スマートフォン向け部品を含め全般的に堅調な需要が継続したことで計画比では増加しました。自動車電装関連は市場好調を背景に堅調に推移しました。

その結果、売上高は136億3千万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益は13億2千1百万円（前年同期比36.1%増）となりました。

## ③機械器具

各種自動機器、医療器具を主軸として販売してまいりました。各種自動機器は車載関連装置や医療関連装置が中心となりました。医療器具関連は概ね計画に沿った実績となり、受注、売上ともに堅調に推移しました。

その結果、売上高は24億8千3百万円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益は3億4千6百万円（前年同期比12.8%減）となりました。

## ④その他

賃貸事業、売電事業を行っております。

売上高は7百万円（前年同期比2.7%減）、セグメント利益は2千8百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は92億2千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億8千万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が3億4千1百万円、仕掛品が2億9百万円増加したことによるものであります。固定資産は105億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億4千8百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が4億9千万円、有形固定資産が2億3千4百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は52億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億8千4百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が5億3千2百万円、買掛金が4億3千万円増加したことによるものであります。固定負債は16億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千5百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が9千3百万円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は128億9千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億9百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が5億2千7百万円、その他有価証券評価差額金が3億2千4百万円増加し、非支配株主持分が1億8千6百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は64.0%（前連結会計年度末は65.0%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、概ね計画どおり推移しております。従いまして、現時点におきましては、平成29年2月13日に公表いたしました業績予想値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,415,790	1,757,091
受取手形及び売掛金	4,592,817	4,733,156
商品及び製品	170,173	182,419
仕掛品	875,613	1,084,937
原材料及び貯蔵品	954,488	1,064,841
その他	333,139	399,941
流動資産合計	8,342,022	9,222,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,669,827	3,695,602
機械装置及び運搬具（純額）	3,035,261	3,101,494
土地	1,441,953	1,447,232
その他（純額）	313,359	450,457
有形固定資産合計	8,460,401	8,694,787
無形固定資産	49,681	64,078
投資その他の資産		
投資有価証券	1,195,951	1,686,737
その他	203,216	112,718
貸倒引当金	△936	△1,136
投資その他の資産合計	1,398,232	1,798,320
固定資産合計	9,908,314	10,557,185
資産合計	18,250,337	19,779,573

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,066,566	2,496,885
短期借入金	845,120	1,377,121
1年内返済予定の長期借入金	270,228	300,780
未払法人税等	360,864	193,352
賞与引当金	95,076	337,833
役員賞与引当金	25,400	20,300
その他	623,459	545,038
流動負債合計	4,286,716	5,271,311
固定負債		
長期借入金	396,890	303,483
長期未払金	459,311	443,776
退職給付に係る負債	821,852	835,069
その他	—	30,492
固定負債合計	1,678,053	1,612,821
負債合計	5,964,769	6,884,132
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,435,300	1,435,300
資本剰余金	1,439,733	1,386,166
利益剰余金	8,471,528	8,999,429
自己株式	△1,130	△1,130
株主資本合計	11,345,431	11,819,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	456,030	781,019
為替換算調整勘定	129,218	121,124
退職給付に係る調整累計額	△69,670	△64,903
その他の包括利益累計額合計	515,578	837,240
非支配株主持分	424,558	238,434
純資産合計	12,285,568	12,895,441
負債純資産合計	18,250,337	19,779,573

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	17,516,251	17,322,785
売上原価	15,235,298	14,776,550
売上総利益	2,280,952	2,546,235
販売費及び一般管理費	1,199,222	1,329,008
営業利益	1,081,730	1,217,226
営業外収益		
受取利息	10,929	5,399
受取配当金	15,350	16,595
受取賃貸料	6,710	4,393
スクラップ売却益	6,408	7,863
その他	9,364	5,898
営業外収益合計	48,763	40,149
営業外費用		
支払利息	18,709	21,034
為替差損	126,855	8,496
その他	5,337	3,151
営業外費用合計	150,902	32,682
経常利益	979,591	1,224,694
特別利益		
固定資産売却益	2,605	916
特別利益合計	2,605	916
特別損失		
固定資産売却損	6,121	8,829
固定資産除却損	2,698	3,327
関係会社株式評価損	55,222	—
のれん償却額	10,310	—
特別損失合計	74,353	12,157
税金等調整前四半期純利益	907,843	1,213,453
法人税、住民税及び事業税	528,903	517,056
法人税等調整額	△29,916	△82,054
法人税等合計	498,987	435,001
四半期純利益	408,856	778,452
非支配株主に帰属する四半期純利益	113,140	114,309
親会社株主に帰属する四半期純利益	295,715	664,143



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	408,856	778,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△285,159	324,989
為替換算調整勘定	17,644	△13,104
退職給付に係る調整額	2,265	4,823
その他の包括利益合計	△265,250	316,708
四半期包括利益	143,605	1,095,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,410	985,805
非支配株主に係る四半期包括利益	115,195	109,354

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年7月1日至平成28年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,099,063	13,987,617	2,421,730	17,508,411	7,839	17,516,251	—	17,516,251
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	460,136	△521,519	234,346	172,964	54,900	227,864	△227,864	—
計	1,559,200	13,466,098	2,656,077	17,681,375	62,739	17,744,115	△227,864	17,516,251
セグメント利益	339,290	971,066	397,071	1,707,428	27,948	1,735,376	△653,646	1,081,730

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、売電事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△653,646千円には、セグメント間取引消去△1,432千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△663,346千円、棚卸資産の調整額12,407千円及びその他の影響額△1,275千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

金型セグメントにおいて、関連会社であったPT. GLOBAL TEKNINDO BERKATAMAの支配権を獲得したことにより、連結の範囲に含めたため発生したのれんを一括償却しております。なお、当該償却額については、当第3四半期連結累計期間において「のれん償却額」として10,310千円の特別損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年7月1日至平成29年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,201,353	13,630,539	2,483,266	17,315,160	7,625	17,322,785	—	17,322,785
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	461,002	△333,525	144,426	271,903	54,900	326,803	△326,803	—
計	1,662,355	13,297,014	2,627,693	17,587,064	62,525	17,649,589	△326,803	17,322,785
セグメント利益	281,324	1,321,533	346,076	1,948,934	28,785	1,977,720	△760,494	1,217,226

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、売電事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△760,494千円には、セグメント間取引消去△17,973千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△755,996千円、棚卸資産の調整額23,795千円及びその他の影響額△10,320千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (重要な後発事象)

## (子会社の増資)

当社は、平成29年5月15日開催の取締役会において、連結子会社であるPT. SUGINDO INTERNATIONALが増資を行い、その全額を当社が引き受けることについて決議いたしました。

## 1. 増資の目的

当社の連結子会社であるPT. SUGINDO INTERNATIONALは、インドネシアにおいて自動車部品・電子部品の製造販売を行う当社グループの中核企業であります。同社における今後のさらなる業容拡大に備え、自己資本の増強による財務基盤の強化・健全性の一層の充実をはかることを目的としております。

## 2. 子会社の概要

(1) 名称	PT. SUGINDO INTERNATIONAL		
(2) 所在地	インドネシア共和国西ジャワ州カラワン県カラワン工業団地		
(3) 代表者	本間 浩正		
(4) 事業内容	自動車部品、電子部品のプレススタンピングおよび販売		
(5) 資本金	増資前	50,516,550,000	インドネシアルピア
		424,339,020	円（4月末時点）
	増資後	121,239,720,000	インドネシアルピア
		1,018,413,648	円（4月末時点）
(6) 設立	平成25年12月12日		
(7) 出資比率	増資前	株式会社 鈴木	97.00 %
		PT. GLOBAL TEKNINDO EKSELTAMA	3.00 %
	増資後	株式会社 鈴木	98.75 %
		PT. GLOBAL TEKNINDO EKSELTAMA	1.25 %

## 3. 増資の内容

(1) 増資額	70,723,170,000	インドネシアルピア
	594,074,628	円（4月末時点）
(2) 払込日	平成29年6月	

## 4. 連結業績に与える影響

本件増資による当社の連結業績に与える影響は軽微であり、既に公表している業績見通しに変更はございません。